

鳥取県 高校入試情報

令和7年度鳥取県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

○大問は全部で8問である。

○物理・化学・生物・地学から2問ずつ出題されている。

●出題傾向について

○基礎的な知識を問う問題が多いが、思考力を要するものもふくまれている。

○作図や計算問題の練習も必要である。

★鳥取県の入試は、『理科の新研究』でバッチリ！

■ 実験・観察から考察する問題の出題

・ 基本的な実験・観察問題が多いが、科学的な思考力も求められている。実験観察の目的や方法・結果をおさえ、さらにそこから考察する力を身につけておく必要がある。

➡

新研究で対策！

● 各単元の解説ページ「実験（観察）」で、操作の方法や結果などのポイントをわかりやすくまとめています。

● 「入試実戦講座 総合問題」(p. 192～203)では、全学年内容で思考力を問う問題を精選して出題しています。

■ 計算問題の出題

・ 基本的な内容を扱った計算問題が出題されている。基本公式をしっかりとっておく必要がある。

➡

新研究で対策！

● 「即効チェック4 重要計算32」(p. 172～173)と「入試実戦講座2 公式・計算問題」(p. 180～181)で、重要な公式や法則を用いた計算問題の練習ができます。

● 「即効チェック5 グラフ10」(p. 174～175)と「入試実戦講座3 グラフ問題」(p. 182～183)で、グラフを用いた計算問題に取り組みます。

★新研究で出題した鳥取県の入試問題(令和7年度)

◆p.25 大問3「蒸留」 ◆p.159 大問1「炭素の循環」

令和7年度鳥取県入試では、
計算問題が出題されました。
重要な公式をおさえておきましょう。



★鳥取県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1年内容	植物のなかま	●			
	動物のなかま			▲	
	物質の区別, 気体の性質	▲	▲	▲	
	水溶液の性質	●	▲	▲	
	物質の状態変化				●
	光の性質				
	音の性質/力のはたらき		●	▲	
	火山と地震				●
	地層と過去のように		●	●	
	物質の分解, 原子・分子		▲	▲	
2年内容	物質の化学変化～酸化・還元, 化学変化と熱～				
	化学変化と物質の質量			▲	
	生物と細胞/光合成と呼吸		▲	●	
	根・茎・葉のつくりとはたらき/行動のしくみ		●	▲	
	消化と吸収	●			
	呼吸・血液の循環・排出のしくみ	▲			●
	気象観測と空気中の水蒸気		●	▲	
	天気の変化	●		●	
	電流の性質	▲		●	
	電流のはたらき	●			●
3年内容	水溶液とイオン, 電池とイオン	●	▲	●	●
	酸・アルカリとイオン		●		
	生物の成長とふえ方	▲	●	●	
	力と運動		●	●	●
	仕事とエネルギー	●			
	いろいろなエネルギー				
	天体の動きと地球の自転・公転				●
	太陽系と惑星	●			
	自然界のつり合い				●
	科学技術と人間/自然と人間			▲	
出題形式別の傾向	大問数	8	8	8	8
	小問数	41	41	36	35
	記号解答	22	25	20	18
	短文記述	2	3	3	3
	計算問題	4	5	3	5
	図・グラフ, モデル	2	3	3	2

●…大問の主テーマとして出題された単元。 ▲…大問に1～2問程度出題された単元。